

事業の継続に関するアンケート調査  
報告書  
(概要版)

令和6年11月

福島商工会議所

## 目 次

I. 調査の概要	3
II. アンケート調査結果の概要	4～5
III. 調査結果	
企業情報	
1 主要業種	6
2 経営形態	6
3 従業員数	7
4 売上高	7
5 代表者の年齢	8
事業計画について	
問1 この先5年の事業計画	9～10
後継者について	
問2 後継者の有無	10
問3 後継者は誰か	11
問4 親族・後継者への承継に向けた取り組み	11～12
問5 後継者探しの状況	13
事業の引き継ぎにおける課題について	
問6 事業の引き継ぎの課題	14
事業の引き継ぎにおける相談先について	
問7 引き継ぎにおける相談者	15
無料相談について	
問8 無料相談の希望	15

## I. 調査の概要

- 1 調査対象  
福島商工会議所会員 2,478 者
  
- 2 調査方法  
調査票を郵送し、同封の返信用封筒にて回収する。
  
- 3 調査期間  
令和6年11月1日～12月2日（回収期間：32日間）
  
- 4 回収結果  
送付件数2,478者のうち409者より回答があり、回収率は16.5%となった。  
前年度の実施全体数は、8,697先で回答率18.1と比べ、若干低い結果となった。
  
- 5 回収・集計・分析  
福島県事業承継・引継ぎ支援センター（公益財団法人 福島県産業振興センター）

## II. アンケート調査結果の概要

### ○企業情報

- ① 回答事業者のうち最も多かったのがサービス業 26.7%。次いで卸売・小売業 25.7%、建設業 19.3%と続いた。
- ② 経営形態は、法人 64.1%、個人 35.9%。
- ③ 従業員数は、1～5人が51.6%と一番多く、0人が22.0%続いた。合計0～5人で全体の約7割を占めている。これは、近隣町村とほぼ同様の結果であった。
- ④ 回答事業者の売上高は、1,000万円以下が29.1%、1,000万円超～3,000万円以下が22.0%と合わせて全体の約5割を占めた。都市部であり近隣町村よりも約10%程低い。
- ⑤ 代表者の年齢は、回答事業者のうち51～60歳が29.1%、50才以下が20.3%と続き、60才以下で全体の5割を占め、近隣町村よりも約10%程度多いことから世代交代や新規事業参入が進んでいると見られる。  
但し、75才以上が16.1%と近隣町村並みに高く、65才以上では約4割であるため事業承継への課題は多く残っているものと見られる。

### ○事業計画について

#### 問1 この先5年の事業計画について

「事業を継続する・したい(60.9%)」が最も多く、「事業の拡大をする・したい(13.9%)」となっており、事業継続・拡大で全体の7割以上を占めている。  
「廃業を検討している」が11.5%と県内の郊外町村よりも10%程度低い状態。

- ① M&Aによる事業拡大への興味については、事業拡大予定の内、合計56.1%が検討中・検討したい・関心があるとしている。
- ② 廃業を検討している理由としては、「後継者がいない」が51.3%と一番高く、「事業に将来性が無い」23.7%、「地域に需要が無い」14.5%と続いた。

### ○後継者について

#### 問2 後継者について

・回答事業者の中で「後継者はいない」が29.8%と一番高く、「候補者がいて本人の了解あり」が28.6%、「考える段階でない」が27.6%と続いた。  
「候補はいるが本人の了解なし」が10.3%あり、意思疎通を図る必要性が見られる。  
「考える段階でない」が高いものの、多くは若手の事業者による回答と見られる。

#### 問3 後継者は誰か

回答事業者の中で「親族内」が81.8%と一番多く、「役員・従業員」が13.8%、「第三者」は4.4%であった。

#### 問4 親族・後継者への承継に向けた取組について

- (1) 具体的な準備を進めていますか  
「はい」が67.1%、「いいえ」が30.3%。「はい」の回答が比較的多かった。

(2) 関係者の理解や協力への取組について

「はい」が 57.9%、「いいえ」30.3%、未回答は 11.8%。比較的取組が進んでいる。

(3) 株主名簿・所有資産の整理・経営者保証への取組について

「いいえ」が 46.1%、「はい」が 40.1%、「未回答」が 13.8%。

- ・承継への準備取組は県内でも比較的進んでいると見られるものの、半数は手つかず、もしくは重要性を理解していないか、対応を迷っている状況が伺える。

問 5 後継者探しについて

(1) 相手先の候補について

「いいえ」が 89.9%、「はい」が 8.5%。

(2) 相談する専門家について

「いいえ」が 79.8%、「はい」が 17.8%。8割は事業承継への具体的な考えや行動に移れていない可能性あり。動機づけが重要。

○事業引継ぎ課題について

問 6 事業の引継ぎにおける課題について

- ・「今後の見通し」が 22.4%と一番多く、他は、10%未満で平均した回答となった。
- ・「未回答」と「何から手を付けていいかわからない」を合わせると、少なくとも 10%の事業者で承継のイメージが掴めていないものと考えられる。

○事業引継ぎの相談先について

問 7 事業の引継ぎにおける相談先について

- ・「税理士・会計士」が 30.7%と一番多く、次いで「相談する必要がある」が 18.9%と続いた。他は、10%未満の回答となった。

- ・「相談する必要がある」18.9%は、他の地域が 10%前後であることを考えるとかなり高く、回答者の多くが 60 歳以下であったことと、廃業検討が大きな理由と見られる。

○無料相談について

問 8 事業承継・引継ぎ支援センター無料相談の希望について

- ・「希望しない」が 75.1%と一番多く、「希望する・聞いてみたい」が合計 16.3%。  
相談窓口としての認知度アップが大きな課題

注) 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。